

株主の皆さまへ

第136期中間事業報告書

自 平成15年4月1日
至 平成15年9月30日

 **ENSHU**
エンシュウ株式会社

MESSAGE

ごあいさつ



代表取締役社長

寺田一彦



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当上半期のわが国経済は、国内のデフレの長期化により景気の停滞が続く中、株価の持ち直しや設備投資の改善により一部回復の動きも見られましたが、円高の進行、長引く個人消費の低迷など先行き不透明感を抱えたまま推移いたしました。

そのような環境の中で、当社の売上高は、機器事業部門の減少により全体としては前期に比べ僅かながら減少いたしました。利益につきましては、当上半期中に厚生年金基金の代行部分を返上したことにより退職給付費用が減少し、経常利益ベースでは増益となりましたが、特別損失が発生したため最終利益段階では減益となりました。しかしながら、来期以降は、代行部分の返上により本業以外の要因が損益を左右することが少なくなり、体質改善が図られるものと考えております。

当社は、今年4月よりスタートさせた3ヶ年経営計画の中

で“モノづくり”の原点に戻り徹底した改革を図ることをテーマに掲げ、全社一体となって取り組んでおります。コスト・納期・品質の強化はもちろんのこと、環境対策・安全・人材育成という課題にも十分な方策を講じていくことが重要であると考えております。

これらのテーマについては、お客様満足度の向上を第一に考え、お客様から信頼していただける製品づくりに全社を上げて取り組んでまいりたいと思っております。

また、中長期的には既存の事業に加え、他企業とのアライアンスの強化や地元企業、大学との共同研究による新しい分野への展開も図ってまいりたいと思っております。

株主の皆様におかれましては、今後とも今まで以上のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、第136期の中間配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますがその実施を見送らせていただくことといたしました。

平成15年12月



概況報告

平成15年4月1日から平成15年9月30日に至る当社第136期上半期の営業の概況をご報告申し上げます。

工作機械部門

当上半期の工作機械業界の受注は、国内では自動車業界向けが堅調に推移し、またIT関連も回復基調となりました。一方、海外ではアジアが好調に推移いたしました。

そのような中で、自動車業界を中心として当社の強みであるシステム商品を積極的に営業展開してまいりました。その結果、受注・売上とも前期を上回ることができました。収益面につきましては、



高速横形マシニングセンタ JE80S



シリンダーヘッド加工ライン

前期に比べ微減となりましたが黒字を確保することができました。

技術・製造部門におきましては、メーカーの原点である“モノづくり”の強化（品質向上・納期遵守・コスト削減）に一体となって注力し、システム商品の競争力アップと収益力の向上に努めてまいりました。

事業開発部門につきましては、光技術をコアとして浜松ホトニクス株式会社との連携、協業を推進してまいりました。とりわけ、半導体レーザーを搭載した「高出力半導体レーザー溶接システム」については、展示会への出品など積



極的にPRをしてまいりました。

引き続き更なる用途開発、研究を続けながら早急に販売を軌道に乗せ収益化を進めてまいります。

今後につきましては、顧客満足を実現する提案力を強化し、また、低価格・高信頼性・短納期等の顧客ニーズに合った商品を提供し、受注拡大を図ってまいります。また、オークマ株式会社とのアライアンスについては、共同開発機をベースに強化してまいります。



シリンダーブロック加工ライン

当上半期は、バギー車用エンジン部品及びスノーモービル用部品の生産の減少により、売上高は前期に比べ減少しましたが、収益面につきましては、TPM活動をベースとした工場改善による原価低減の効果により増益となりました。また、新規製品取り入れのため工場の再構築も進めてまいりました。

今後につきましては、海外自製化やグローバルな調達による価格競争の激化など、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きますが、新規事業の開拓による仕事の確保とTPM活動をベースとした工場改善を更に推進し、原価低減をより一層強化してまいります。



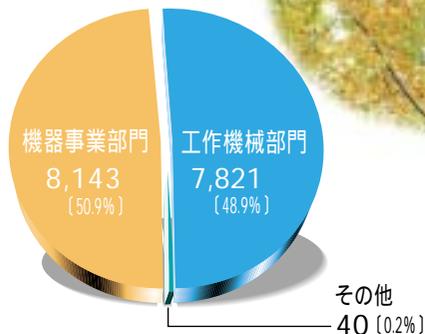
ケース加工ライン



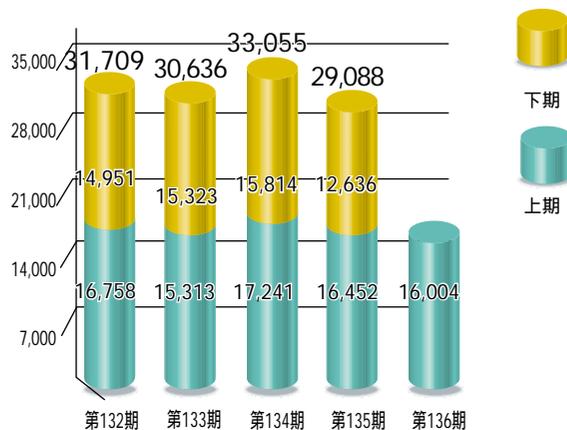
ボディシリンダーライン



部門別売上高 (百万円)



売上高の推移 (百万円)



中間貸借対照表の要約 (百万円)

平成15年9月30日現在

| 資産の部 | |
|---------------|---------------|
| 科目 | 金額 |
| 流動資産 | 20,414 |
| 現金及び預金 | 1,784 |
| 受取手形 | 1,319 |
| 売掛金 | 8,591 |
| 棚卸資産 | 7,954 |
| その他の貸倒引当金 | 773 |
| 貸倒引当金 | △ 9 |
| 固定資産 | 14,588 |
| 有形固定資産 | 12,928 |
| 建物及び構築物 | 1,926 |
| 機械装置 | 4,349 |
| 土地 | 5,919 |
| その他 | 732 |
| 無形固定資産 | 33 |
| 投資等 | 1,626 |
| 投資有価証券 | 197 |
| 子会社株 | 301 |
| その他の貸倒引当金 | 1,149 |
| 貸倒引当金 | △ 21 |
| 資産合計 | 35,002 |

注) 1.有形固定資産の減価償却累計額 21,952百万円
 2.受取手形割引高 1,079百万円
 3.保証債務 182百万円

| 負債の部 | |
|------------------|---------------|
| 科目 | 金額 |
| 流動負債 | 18,419 |
| 支払手形 | 1,772 |
| 買掛金 | 4,485 |
| 短期借入金 | 10,449 |
| 未払金、未払法人税等 | 941 |
| その他の | 769 |
| 固定負債 | 10,805 |
| 長期借入金 | 6,080 |
| 土地再評価に係る繰延税金負債 | 2,141 |
| 退職給付引当金 | 2,203 |
| その他 | 379 |
| 負債合計 | 29,224 |
| 資本の部 | |
| 資本金 | 2,390 |
| 資本剰余金 | 803 |
| 利益剰余金 | △ 635 |
| 中間未処理損失 (うち中間損失) | 635 |
| | (410) |
| 土地再評価差額金 | 3,252 |
| その他有価証券評価差額金 | △ 26 |
| 自己株式 | △ 6 |
| 資本合計 | 5,778 |
| 負債及び資本合計 | 35,002 |

会社の概要

| | |
|--------------|------------------------------|
| 商号 | エンシュウ株式会社 (英文 ENSHU Limited) |
| 設立 | 大正9年2月5日 |
| 資本金 | 23億 9,085万円 |
| 会社が発行する株式の総数 | 150,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 47,817,000株 |
| 生産品目 | 工作機械、発動機および関連機器 |



中間損益計算書の要約(百万円)

自 平成15年4月1日
至 平成15年9月30日

| 科目 | 金額 |
|----------------|---------------|
| 売上高 | 16,004 |
| 売上原価 | 14,272 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,174 |
| 営業利益 | 557 |
| 営業外収益 | 49 |
| 営業外費用 | 320 |
| 経常利益 | 286 |
| 特別利益 | — |
| 特別損失 | 925 |
| 税引前中間損失 | 638 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 269 |
| 法人税等調整額 | 498 |
| 中間損失 | 410 |
| 中間未処理損失 | 635 |

事業所



本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市高塚町4888 電話 053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜北市根堅788 電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜北市根堅788 電話 053-588-2671(代)

東京支店 〒140-0001 東京都品川区北品川1-1-11(第3小池ビル)
電話 03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-17-14(吉川ビル)
電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション / 仙台・高崎・金沢・広島

海外現地法人
ENSHU(USA) CORPORATION (シカゴ)
ENSHU GmbH (フランクフルト郊外)
ENSHU (Thailand) Limited (バンコク)

役員 平成15年9月30日現在

| | |
|---------|------|
| 代表取締役社長 | 寺田一彦 |
| 常務取締役 | 加茂只文 |
| 常務取締役 | 中安茂夫 |
| 常務取締役 | 千賀伸一 |
| 取締役 | 安田俊二 |
| 取締役 | 横山晴臣 |
| 取締役 | 中村泰之 |
| 取締役 | 大野博司 |
| 常勤監査役 | 坂田壽勝 |
| 常勤監査役 | 松山美廣 |
| 監査役 | 石塚尚 |
| 監査役 | 鈴木芳男 |

■取締役大野博司氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。

■監査役石塚尚氏、鈴木芳男氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。



株主メモ



| | |
|-----------------|---|
| 決算期 | 毎年3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主となります。 |
| 名義書換停止期間および基準日 | 毎年4月1日から4月30日まで。 なお、中間配当金受領株主の確定、その他必要がある場合は、あらかじめ公告して一定期間停止、または基準日を設定します。 |
| 名義書換代理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |
| 〔お問合わせ先〕 | 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5213-5213(代表) |
| 同取次所 | みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店 |
| 1単元の株式の数 | 1,000株 |
| 公告掲載新聞 | 東京都において発行する日本経済新聞 |
| 決算公告のホームページのご案内 | ホームページにて当会社の財務内容をご覧ください。《 http://www.enshu.co.jp/kessan/ 》 |
| 株式の上場 | 東京、名古屋 両証券取引所市場第一部 |

世界三大国際工作機械見本市のひとつ「EMOミラノ2003」が10月21日から28日まで開催され、世界38カ国から、1,636社が出展しました。

当社からはLE70、JE60S、JE30Sの3機種を出品し、来場者の好評を得ました。



超高速ハイブリッドリニア
横形マシニングセンタ LE70



横形マシニングセンタ JE60S



横形マシニングセンタ JE30S



メカトロテックジャパン2003

FA技術専門展「メカトロテック・ジャパン2003」が、10月15日から18日まで、ポートメッセなごや（名古屋国際展示場）で開催されました。

国内外から324社11団体が出品し、当社からは高出力半導体レーザー溶接システム「L1」を出展し、会場の注目を集めました。



高出力レーザー溶接システム L1





エンシュウ株式会社

インターネット上にホームページを開設しております。
エンシュウ株式会社 <http://www.enshu.co.jp/>
ENSHU (USA) CORPORATION www.enshuusa.com